



中部大学
京都先端科学大学 共催 シンポジウム



リベラルアーツと テクノロジー

2026

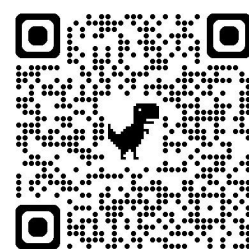
6/20 SAT

14:00 - 17:00 (ZOOM使用)

事前登録制・参加無料 (先着250名)

右のQRコードからお申し込みください

(問い合わせ先: chubu-clace@fsc.chubu.ac.jp)



2026年 6月12日 (金) 締切

※ 定員に達し次第、
申込を締め切らせていただきます



榎 裕之
奈良国立大学機構
理事長



藤垣 裕子
東京大学大学院
総合文化研究科 教授



小林 傳司
大阪大学名誉教授

司会: 石井洋二郎 京都先端科学大学特任教授・中部大学フェロー

Program

14:00	開会
14:00 - 14:10	主催校挨拶：前田正史（京都先端科学大学学長） 前島正義（中部大学学長）
14:10 - 14:15	趣旨説明：鈴木順子（中部大学創造的リベラルアーツセンター長）
14:15 - 14:45	発表①：榊裕之「基礎教養教育と専門教育の支え合い」
14:50 - 15:20	発表②：藤垣裕子「人工物の権力論：テクノロジーに内包される価値観をめぐって」
15:25 - 15:55	発表③：小林傳司「科学技術のシビリアンコントロール：リベラルアーツの可能性」
15:55 - 16:05	休憩
16:05 - 17:00	パネルディスカッション
17:00	閉会

Profile

榊裕之（さかき・ひろゆき）

1944年愛知県生まれ。73年東京大学博士課程修了（電子工学）。73年-2007年東京大学生産技術研究所などで助教授と教授を歴任。MOS電界効果トランジスタの伝導層、超格子、量子細線・ドットなど、ナノ構造中の電子の量子効果の研究を推進。76-77年、米国IBM Esakiグループ客員。07-22年に豊田工業大学副学長・学長。日本学士院賞受賞、文化功労者、文化勲章受章。奈良国立大学機構理事長。東京大学名誉教授。日本学士院会員。

藤垣裕子（ふじがき・ゆうこ）

1962年東京都生まれ。東京大学教養学部基礎科学科第二（システム基礎科学）卒、同大学院総合文化研究科広域システム科学系博士課程修了。博士（学術）。専門は科学技術社会論。科学技術社会論学会会長、東京大学理事・副学長などを歴任。著書に『専門知と公共性——科学技術社会論の構築にむけて』（東京大学出版会）、『科学者の社会的責任』（岩波書店）、翻訳に『数値と客観性——科学と社会における信頼の獲得』（みすず書房）、編著に『科学技術社会論の挑戦Ⅰ～Ⅲ』（東京大学出版会）など。

小林傳司（こばやし・ただし）

1954年京都府生まれ。京都大学理学部卒。東京大大学院理学系研究科博士課程修了。専門は科学哲学、科学技術社会論。福岡教育大学、南山大学を経て大阪大学コミュニケーションデザイン・センター教授。大阪大学理事・副学長、JST社会技術研究開発センター長などを歴任。大阪大学名誉教授、国際高等研究所副所長。主な著書に「誰が科学技術について考えるのか」（名古屋大学出版会、日経BP賞）、「トランスサイエンスの時代」（NTT出版）、「シリーズ大学 全6巻」（編）岩波書店）など。

石井洋二郎（いしい・ようじろう）

1951年東京都生まれ。東京大学法学部卒、同大学院人文科学研究科修士課程修了。博士（学術）。東京大学総合文化研究科長・教養学部長、同大学理事・副学長などを歴任。東京大学・中部大学名誉教授。主な著書に『ロートレアモン越境と創造』（筑摩書房、芸術選奨文部科学大臣賞）、『時代を「写した」男ナゲール』（藤原書店）、『書物の航海へ』（岩波書店）、主な訳書にブルデュ『ディスタンクシオンⅠ・Ⅱ』（藤原書店、渋沢・クローデル賞）、『ロートレアモン/イジドル・デュカス全集』（筑摩書房、日本翻訳出版文化賞、日仏翻訳文学賞）など。